

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

団体名	みんなのごはん
-----	---------

取組の名称	みんなのごはん（子ども食堂）
実施場所	川崎市川崎区浜町 4-7-10
対象地域	川崎区
対象地域の特色・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭や外国籍の子どもが比較的多く、多様な背景を持つ子どもたちへの支援が求められている。 ・一人暮らしの高齢者も多く、地域における孤立防止や見守り体制の充実が課題となっている。 ・子どもと高齢者が交流する機会が限られていることから、世代間交流を促進し、地域のつながりを強化する取組が必要である。 ・地域住民が気軽に集い、相談や交流ができる居場所づくりが求められている。
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで温かい食事を楽しく食べる機会をつくる。 ・子どもたちや地域の方々が安心して集える居場所を提供する ・地域住民同士の交流を深め、つながりを育む。 ・食育を通じて食の大切さを学ぶ機会を提供する。 ・多世代交流を促進し、地域全体で子どもを支える環境づくりを行う。
実施内容・実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた献立を提供し、日本の伝統的な食文化や行事食に親しむ機会を設ける。 ・子どもたちが温かい食事を囲みながら、地域住民や参加者同士で交流できる場を提供する。 ・食事の提供を通じて、子どもたちの健全な成長と地域とのつながりを支援する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・開催頻度は月 1～2 回とし、継続的な居場所づくりに取り組む。 		
参加者の年代	2 歳から 95 歳	定員 (1 回あたり)	200 人前後
実施頻度	月に 1-2 回	活動日数 (年間)	18 日
スタッフ体制	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員、主任児童委員、町内会婦人部を中心として運営を行う。 ・夏休み・冬休み・春休み期間中は、学生ボランティアも活動に参加し、食事の準備や配膳、参加者との交流などを支援する。 ・地域住民と学生ボランティアが連携し、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりと地域交流の推進に取り組む。 		
連携する団体・ 連携の手法	<p>マリーンロータリー・・・米の寄付</p> <p>民生委員・児童委員、主任児童委員、町内会、地域住民、学生ボランティア等と連携しながら事業を実施する。</p> <p>また、今後は SNS 等を活用した情報発信を強化し、子ども食堂の活動内容や開催情報を広く周知することで、地域住民や企業、各種団体からの協力及び支援の拡大を図る。</p> <p>地域企業、福祉団体及び関係機関との連携を推進し、食材提供や寄付、ボランティア協力などの支援体制の充実を図る。</p>		

<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>子どもたちとの継続的な交流を通じて、少しずつ信頼関係が構築されている。また、学校生活や日常生活における悩みを相談する子どもも見られるようになった。</p> <p>さらに、地域で顔を合わせた際には子どもたちから挨拶や声掛けをしてくれるようになり、地域住民とのつながりが深まっている。</p> <p>高齢者と子どもたちとの交流においても、祖父母と孫のような温かい関係が育まれており、世代を超えた交流の場として機能している。</p> <p>本取組を通じて、子どもたちが高齢者を敬い思いやる心を育むとともに、地域全体で子どもを見守り支え合う意識の醸成につながることを期待する。</p>
-----------------------------------	---